

令和7年度 福島中学校 シラバス

学年	2	教科	美術	担当	吉田いずみ	時数	35
----	---	----	----	----	-------	----	----

◆教科の目標

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これからを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、美術を主体的に生活や学習に生かそうとする力を育む。

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣旨	感性や想像力を働かせ、自分の見方や考え方、感じ方によって、美術と社会の関係、そこに機能する美術の役割について理解できる。また、表現の為に必要な知識や技術を習得し、効果を考え使用できる。	感性や美的感覚を働かせて、創造する事の楽しさや深さを味わいながら、作品と自身、機能と美しさの調和、社会等との関わりについて深く考えることができる。また、作品製作を通して、問題意識を持ち、表現方法を選択、工夫するなど、自己の課題に柔軟に対応しながら、表現することができる。	授業の内容を理解し、創造する事の楽しさや対象の美しさ、美術の持つよさに気づきながら、よりよい自己表現に向けて深く考え、粘り強く制作しようとしている。また、美術を通して芸術文化に親しむ事が出来るよう主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に参加し多面的に美術を捉え、取り組もうとしている。

◆年間指導計画

月	領域	単 元 名 【 時 間 】	学習内容	観点別評価の規準	評価方法
4月～7月	絵画	「切りえ」 原画制作10時間 「夏休み自宅課題」 について1時間	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の参考作品を鑑賞する、 日本の美、日本の美の様式について学ぶ。 シュールレアリズムやピカソについて学ぶ。 ゴッホの花の絵を鑑賞する。 題材に沿った作品を制作する。 鑑賞会 	【知】 (知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】 (思考・判断・表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】 (主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」「自らの学習を調整しようとする」態度 【知】 学んだことを 水彩絵の具を使用し、表現をする技術が身についている。 【思】 創意工夫しながら取り組んでいる。 【主】 主体的に制作に取り組んでいる。 最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。 生徒相互の観賞を通して作品の良さに気づき自分のさく品に生かそうとしている。	【知】 テスト、ワークシート、提出作品 【思】 観察、ワークシート提出作品 【主】 観察、ワークシート提出作品
8月	デザイン	「夏休み自宅課題」	<ul style="list-style-type: none"> (夏休み自宅課題) ポスター『薬物乱用防止』テーマを考え、既習の「色の知識」や「レタリング」などの知識や技術を生かしポスターを制作する。 	【主】 よりよい表現を目指し作品を完成させようとしている。 主体的に制作に取り組んでいる。 最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。	【主】 提出作品
9月～12月	絵画 デザイン	「切りえ」 14時間 「美術を活かした仕事」	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の参考作品を鑑賞する、 1学期に作成した原画をもとに切りえを制作する。 題材に沿った作品を制作する。 北斎から印象派までを学ぶ。 鑑賞会 (1時間) 	【知】 学んだことを カッターナイフを使用し、表現をする技術が身についている。 【思】 創意工夫しながら取り組んでいる。 【主】 主体的に制作に取り組んでいる。 最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。 生徒相互の観賞を通して作品の良さに気づき自分のさくに生かそうとしている。	【知】 テスト、提出作品、ワークシート 【思】 観察、提出作品 【主】 観察、提出作品
1月～3月	デザイン	「合格絵馬」 10時間	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の参考作品を鑑賞する、 レタリング、構成、色彩、イラストなど知識や技術を生かし、制作する。 	【知】 1年の時から学んだことを、表現をする技術が身についている。 【思】 創意工夫しながら取り組んでいる。 【主】 主体的に制作に取り組んでいる。 最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。 生徒相互の観賞を通して作品の良さに気づき自分のさくに生かそうとしている。	【知】 テスト、提出作品 【思】 観察、提出作品 【主】 観察、提出作品